

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月14日

【四半期会計期間】 第49期第2四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第48期 第2四半期 連結累計期間		第49期 第2四半期 連結累計期間		第48期	
		自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高	(千円)	2,781,477		1,879,896		6,228,413	
経常利益又は経常損失()	(千円)	177,705		68,072		353,329	
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	(千円)	185,912		110,566		384,557	
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	171,581		140,479		350,198	
純資産額	(千円)	3,213,021		3,175,139		3,034,743	
総資産額	(千円)	10,877,755		8,592,310		9,979,217	
1株当たり四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()金額	(円)	21.34		12.69		44.14	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)	29.5		36.9		30.4	
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	144,464		644,345		949,794	
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	45,723		2,190,298		16,358	
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	320,871		1,770,118		799,933	
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	171,630		244,041		467,502	

回次		第48期 第2四半期 連結会計期間		第49期 第2四半期 連結会計期間	
		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益又は 四半期純損失()金額	(円)	9.17		14.83	

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第48期第2四半期連結累計期間及び第48期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。
4. 第49期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社については、連結子会社であった株式会社TAWIは、平成25年2月13日に清算終了しました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による金融政策や経済対策への期待を背景に円安、株高が進行し一部に企業の設備投資や個人消費の回復等緩やかな景気回復の兆しが見られるものの、中国等新興国景気に減速感があらわれて先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下建設業界におきましては、東日本大震災の復興工事は順調に進行しているものの円安に伴う資材価格の上昇や労務費の高止まり等厳しい経済環境が続くなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18億79百万円(前年同四半期比32.4%減)、営業利益68百万円(前年同四半期は2億18百万円の営業損失)、経常利益68百万円(前年同四半期は1億77百万円の経常損失)、四半期純利益1億10百万円(前年同四半期は1億85百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

工事の完成が翌四半期以降にずれること等により減収となりましたが、コストダウンと工場稼働率の向上により利益を確保できました。

また、PCカーテンウォール業界の淘汰による供給不足から、受注単価は上昇しつつあります。

この結果、売上高は16億30百万円(前年同四半期比17.4%減)、セグメント利益は90百万円(前年同四半期は2億21百万円のセグメント損失)となりました。

アクア事業

同業他社の安値での見積り参入等受注環境は厳しく、売上は伸びませんでした。

この結果、売上高は1億24百万円(前年同四半期比55.9%減)、セグメント損失は15百万円(前年同四半期は2百万円のセグメント利益)となりました。

システム収納家具事業

スリム化を進めており大幅な減収となりました。

この結果、売上高は13百万円(前年同四半期比96.1%減)、セグメント損失は2百万円(前年同四半期は8百万円のセグメント利益)となりました。

建設事業

厳しい事業環境と営業力不足から売上を伸ばすことはできませんでしたが、保有不動産の売却により利益を確保できました。

この結果、売上高は1億11百万円(前年同四半期比41.5%減)、セグメント利益28百万円(前年同四半期は10百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は85億92百万円と前連結会計年度末と比較して13億86百万円の減少となりました。これは主に未成工事支出金が8億7百万円増加したことと、現金預金が3億10百万円及び投資不動産が18億11百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は54億17百万円と前連結会計年度末と比較して15億27百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が4億67百万円増加したことと、短期借入金が19億30百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は31億75百万円と前連結会計年度末と比較して1億40百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が29百万円及び利益剰余金が四半期純利益の計上により1億10百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して72百万円増加して2億44百万円(前年同四半期比42.2%増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に売上債権の増加額2億87百万円と未成工事支出金の増加額8億7百万円により6億44百万円の資金減少(前年同四半期は1億44百万円の資金増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の売却による収入3億12百万円と投資不動産の売却による収入18億9百万円により21億90百万円の資金増加(前年同四半期は45百万円の資金増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入れによる収入11億30百万円と短期借入金の純減少額7億62百万円及び長期借入金の返済による支出18億31百万円により17億70百万円の資金減少(前年同四半期は3億20百万円の資金減少)となりました。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記事項はありません。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第2四半期累計期間において、著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		9,553,011		4,542,968		

(6) 【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
高橋 武治	東京都品川区	1,663	17.41
高橋 敏男	東京都港区	1,249	13.07
岩崎 陽子	東京都世田谷区	477	4.99
高橋 宗敏	東京都港区	412	4.32
高橋 亜紀子	東京都港区	401	4.20
山本 知宏	神奈川県横浜市青葉区	330	3.45
和泉 孝雄	大阪府枚方市	325	3.40
高橋 雅代	東京都世田谷区	235	2.46
高橋 則子	東京都渋谷区	211	2.21
藤田 修二	千葉県浦安市	148	1.55
計		5,455	57.11

(注) 上記のほか当社所有の自己株式841千株(8.81%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 841,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,641,000	8,641	
単元未満株式	普通株式 71,011		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		8,641	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式925株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 室町3丁目2番15号	841,000		841,000	8.80
計		841,000		841,000	8.80

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	607,502	297,241
受取手形・完成工事未収入金等	641,930	928,954
未成工事支出金	1,748,034	2,555,831
その他のたな卸資産	1 53,927	1 58,952
その他	68,425	57,700
貸倒引当金	1,050	-
流動資産合計	3,118,769	3,898,680
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	956,063	740,144
土地	1,554,864	1,387,029
その他(純額)	100,745	86,170
有形固定資産合計	2,611,673	2,213,344
無形固定資産	103,615	100,107
投資その他の資産		
投資有価証券	171,190	204,499
投資不動産(純額)	2,538,472	726,896
保険積立金	683,278	677,232
その他	799,215	818,267
貸倒引当金	46,997	46,717
投資その他の資産合計	4,145,158	2,380,178
固定資産合計	6,860,447	4,693,629
資産合計	9,979,217	8,592,310
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	777,070	651,560
短期借入金	3,839,109	1,908,207
1年内償還予定の社債	414,900	368,200
未成工事受入金	311,639	928,144
工事損失引当金	114,100	84,000
引当金	33,738	28,325
その他	272,536	122,805
流動負債合計	5,763,094	4,091,243
固定負債		
社債	424,000	255,000
長期借入金	44,443	511,932
役員退職慰労引当金	312,634	312,634
引当金	1,526	-
その他	398,776	246,360
固定負債合計	1,181,379	1,325,927
負債合計	6,944,473	5,417,170

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
利益剰余金	1,367,865	1,257,298
自己株式	153,899	153,927
株主資本合計	3,021,202	3,131,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,633	37,545
その他の包括利益累計額合計	7,633	37,545
新株予約権	5,908	5,852
純資産合計	3,034,743	3,175,139
負債純資産合計	9,979,217	8,592,310

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
完成工事高	2,781,477	1,879,896
完成工事原価	2,670,651	1,525,647
完成工事総利益	110,826	354,249
販売費及び一般管理費	1 329,204	1 285,910
営業利益又は営業損失()	218,378	68,338
営業外収益		
受取利息	329	339
受取配当金	2,314	1,660
投資有価証券売却益	5,550	492
保険解約返戻金	42,738	9,779
投資不動産賃貸料	56,065	59,803
鉄屑売却収入	17,718	11,514
その他	33,860	15,573
営業外収益合計	158,577	99,165
営業外費用		
支払利息	40,125	41,105
投資有価証券評価損	871	815
不動産賃貸費用	40,676	45,038
その他	36,230	12,471
営業外費用合計	117,904	99,431
経常利益又は経常損失()	177,705	68,072
特別利益		
固定資産売却益	-	161,883
特別利益合計	-	161,883
特別損失		
固定資産売却損	-	105,810
固定資産除却損	1,392	2,858
特別損失合計	1,392	108,669
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	179,098	121,286
法人税、住民税及び事業税	5,203	5,157
法人税等調整額	1,610	5,562
法人税等合計	6,814	10,719
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	185,912	110,566
四半期純利益又は四半期純損失()	185,912	110,566

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	185,912	110,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,330	29,912
その他の包括利益合計	14,330	29,912
四半期包括利益	171,581	140,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,581	140,479

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	179,098	121,286
減価償却費	93,481	83,976
固定資産売却損益(は益)	-	56,072
固定資産除却損	-	442
投資有価証券評価損益(は益)	871	815
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	18,714	-
工事損失引当金の増減額(は減少)	11,980	30,100
引当金の増減額(は減少)	6,758	8,268
受取利息及び受取配当金	2,643	2,000
投資有価証券売却損益(は益)	2,647	492
支払利息	40,125	41,105
売上債権の増減額(は増加)	449,861	287,023
未成工事支出金の増減額(は増加)	285,990	807,797
その他のたな卸資産の増減額(は増加)	33,963	5,025
保険積立金の増減額(は増加)	203,272	6,046
その他の資産の増減額(は増加)	7,566	20,651
仕入債務の増減額(は減少)	313,409	125,509
未成工事受入金の増減額(は減少)	177,926	616,504
その他の負債の増減額(は減少)	23,798	113,033
その他	3,592	1,016
小計	189,581	586,815
利息及び配当金の受取額	2,892	2,236
利息の支払額	37,894	49,556
法人税等の支払額	10,115	10,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,464	644,345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	86,800
有形固定資産の取得による支出	40,651	17,713
有形固定資産の売却による収入	-	312,905
投資有価証券の売却による収入	80,109	3,005
投資不動産の取得による支出	7,604	2,987
投資不動産の売却による収入	-	1,809,568
貸付けによる支出	-	4,600
貸付金の回収による収入	3,997	3,130
その他	126	191
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,723	2,190,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	86,000	762,001
長期借入れによる収入	-	1,130,000
長期借入金の返済による支出	31,044	1,831,411
社債の償還による支出	366,000	215,700
建設協力金の返済による支出	6,831	88,353
その他	2,996	2,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	320,871	1,770,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,925	703
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	132,609	223,461
現金及び現金同等物の期首残高	304,239	467,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	171,630	244,041

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 連結子会社(株)TAWは、平成25年2月13日に清算終了しましたので、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除いております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. その他のたな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
商品	5千円	4千円
材料貯蔵品	53,922千円	58,948千円

2. 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
	233,594千円	121,395千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
従業員給料手当	114,683千円	107,318千円
賞与引当金繰入額	6,461	6,179
貸倒引当金繰入額		1,050

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
現金預金	311,630千円	297,241千円
預入期間が3か月超の定期預金	140,000	53,200
現金及び現金同等物	171,630千円	244,041千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,973,385	282,133	335,608	190,350	2,781,477		2,781,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高				14,235	14,235	14,235	
計	1,973,385	282,133	335,608	204,585	2,795,713	14,235	2,781,477
セグメント利益又はセグメント損失()	221,606	2,549	8,444	10,998	221,610	3,232	218,378

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額3,232千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,630,858	124,549	13,106	111,383	1,879,896		1,879,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高				38,119	38,119	38,119	
計	1,630,858	124,549	13,106	149,502	1,918,016	38,119	1,879,896
セグメント利益又はセグメント損失()	90,068	15,040	2,340	28,929	101,616	33,277	68,338

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額 33,277千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は四半期純損失()金額	21円34銭	12円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()金額(千円)	185,912	110,566
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失()金額(千円)	185,912	110,566
普通株式の期中平均株式数(株)	8,711,960	8,711,159

(注)1 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

高橋カーテンウォール工業株式会社
取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 井 智 宇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。